

新横浜ドッグラン通信



3月号

▽初めに

皆様こんにちは、スタッフの石川です。
寒い日が続きますね、飼い主様もワンちゃんも体調管理にはご注意ください。
3回目となる今回は、この時期の必需品『暖房器具の注意点』についてです。
お時間がありましたら是非ご覧下さい (^_^)♪

*暖房器具について

この季節、朝晩お部屋に暖房を入れるご家庭も増えてきたと思います。中には自分のためだけでなく、寒がりなワンちゃんのために暖房を使い始める方もいらっしゃるかもしれませんが、しかし、さまざまな暖房器具も使い方を誤ると、やけどや体調不良などの原因になることがあるのです！

エアコンによる暖房

暖房用のエアコンがあれば、部屋全体の温度が高くなり、私たちが寒さに弱いワンちゃんたちも快適です。しかし、エアコンのような暖かい風を出して温める暖房器具は上から溜まってきます。私たちはあったかいと感じていてもワンちゃんがいる床に近い部分はまだひんやりとしているということもありますので、時々部屋全体の空気をよくかき回すようにしてあげてくださいね！
また、温風の吹き出し方向とワンちゃんの位置に注意し、風が直接当たりつづけないようにしましょう。

ストーブによる暖房

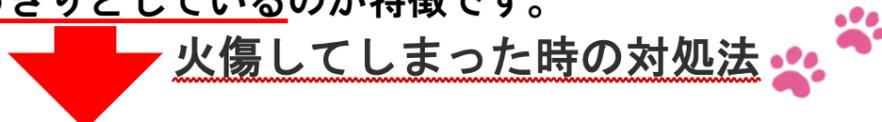
電気ストーブや灯油ストーブは昔からの暖房器具ですが、これらに不慣れなワンちゃんは、近づきすぎてひげや尻尾の先の毛を焼いてしまったり体をやけどしてしまうことがあります。ストーブのような直接熱が出る暖房器具はチャイルドガードのような柵できちんと囲って、必要以上に近づかないように注意してあげる必要があります。

コタツの使用

高温のコタツの中にずっと入っていたり、ホットカーペットの上に毛布をかぶせた中に長時間寝ていると冬でも熱中症になることも。ワンちゃんがコタツの中に入った場合、コタツ布団の一枚所を持ち上げて熱が必要以上にこもらないようにしてあげたり、ある程度暖めたらコタツの電源を切るなどしてあげてください。

*低温やけどにご注意を！

低い温度に長時間接しつづけたために生じるやけどのことを低温やけどといいます。始めは皮膚が内出血をしたように赤紫から青黒くなり、毛が抜け次第に厚いかさぶたとなり、さらに酷くなると、壊死した皮膚が脱落してしまい、潰瘍をおこしたようになってしまいます。熱を受けた部分のみが病変部となるため、境界が比較的はっきりとしているのが特徴です。



火傷してしまった時の対処法

人と同じように、まずは冷やすことが大切です。目安として、10分ほど冷やしてあげましょう。またワンちゃんの皮膚は被毛で覆われていて患部が見えにくいので痛がらない程度によく探してあげましょう。ただし応急処置によって広範囲の皮膚を冷やしすぎたり、毛を濡れたままにしておくと、やけどしたショックも重なり低体温症を併発する恐れがあるので、震えたりぐったりしていないかなどワンちゃんの状態を常に確認しながら対処しましょう。



★BEST SHOT★

緊張しながらご挨拶♪



日産スタジアム イベントスケジュール

- 7日(土) 横浜マリノス vs 川崎フロンターレ
【15時キックオフ】
- 8日(日) フリーマーケット
- 15日(日) 川崎市陸上記録会
- 22日(日) フリーマーケット
- 29日(日) 全国統一かけっこチャレンジ



新横浜公園ドッグラン管理事務所

〒222-0036 横浜市港北区小机町 3300

新横浜公園内 遊具広場隣 (第3レストハウス向)

045-476-2820 (営業時間内) <http://www.shinyoko-dogrun.com/>